

平成24年12月18日

B001「肝硬変症に対する自己骨髄細胞投与療法」（山口大学医学部附属病院）について実施体制に係るコメント

高橋 政代

本日の先進医療技術審査部会を欠席させていただきますので、書面にて、実施体制に係るコメントを提出させていただきます。

1. 実施責任医師等の体制
2. 実施医療機関の体制
3. 医療技術の有用性等

について、全て「適」と判断いたします。

投与した単核球のうち末梢静脈投与でどの程度の細胞が肝臓に生着しているか不明であり、適量が病変部に到達しているか心もとないです。さらに大量の細胞が有効である場合もあり、今後もっと投与細胞量を増やすことも必要かと思われます。また、投与ルートについても侵襲は大きい肝動脈投与の方が確実で、有効性も高いという可能性はないかなどを、検討していく必要があると考えます。

以上